

## 大分県姫島村消防団に軽消防自動車を寄贈

～地域の防災活動、災害対応で活躍する消防団の力として～

大分県姫島村への小型動力ポンプ付軽消防自動車に寄贈に際し、3月28日(木)、姫島村において寄贈者代表の日本損害保険協会 大知 久一 専務理事や、来賓の全国離島振興協議会 野口 市太郎 会長(長崎県五島市長)の出席もあり、寄贈式を開催いただきました。

日本損害保険協会では、離島における消防力・防災力の強化、初期消火に重要な役割を担う消防団への直接的な支援等を目的として、1982年度から離島に対して消防機材の寄贈を行っており、2023年度は軽消防自動車4台の寄贈を実施するなかで、その1台が姫島村に寄贈されることとなりました。

寄贈式では、初めに当協会大知専務理事から姫島村 藤本村長に目録およびレプリカキーが贈呈されました。

大知専務理事からは、能登半島地震の犠牲者に哀悼の意が表された後、「自然災害が激甚化・頻発化する中で、地域の防火・防災力の向上には、住民一人一人による自助の促進に加え、『自分たちの地域は自分たちで守る』という共助が極めて重要であり、地域の安全・安心のために消防団が果たしている役割は非常に大きい。寄贈する軽消防自動車により、迅速な初期消火・初期救命への貢献を期待する。」と挨拶がありました。引き続き来賓の全国離島振興協議会 野口会長から「離島は急峻な地形であり、木造住宅が密集して沿岸部にあることが多く、災害を受けやすい。ひとたび火災が発生すると大火になる可能性が高い。この寄贈は、このような離島の厳しい実情を踏まえた日本損害保険協会のご厚志や、関係官庁のご配慮により実現したものであり、離島を代表して感謝いたします。」との感謝の意が表され、藤本村長からは「日本損害保険協会からの寄贈は今回で7回目となる。姫島村の消防団7分団にはそれぞれ消防車を配置している。ご承知のとおり離島は財政力が弱く、このような寄贈は大変ありがたい。姫島村は火災が少ないものの消防車があることは『備えあれば憂いなし』ということで心強い。」とのご挨拶をいただきました。

今回寄贈した軽消防自動車は、軽四輪駆動車をベースとし、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応することができ、迅速な消火活動はもとより普段からの巡回・予防活動への貢献も期待されます。

日本損害保険協会九州支部では今後も地域の安全・安心の向上のための社会貢献活動を行っていきます。



レプリカキーの寄贈



寄贈軽消防自動車



日本損害保険協会 大知専務理事挨拶



全国離島振興協議会 野口会長挨拶



姫島村藤本村長挨拶